

社会福祉原論 I

担当教員 金 蘭九

配当年次 1年

開講時期 第1学期

単位区分 必修

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

- 1 現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。
- 2 福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。
- 3 福祉政策におけるニーズと資源について理解する。
- 4 社会福祉の法体系、実施体制及び財政全体の概要について理解する。
- 5 福祉政策の課題について理解する。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション、現代社会と福祉
2	福祉制度の概念と理念
3	福祉政策の概念と理念
4	福祉制度と福祉政策の関係
5	前近代社会と福祉1（救貧法、慈善事業）
6	前近代社会と福祉2（博愛事業、相互扶助、その他）
7	近代社会と福祉1（第二次世界大戦後の窮乏社会と福祉）
8	近代社会と福祉2（経済成長と福祉、その他）
9	現代社会と福祉1（新自由主義、ポスト産業主義、グローバル化）
10	現代社会と福祉2（リスク社会、福祉多元主義、その他）
11	需要とニーズ概念（需要の定義、ニーズの定義、その他）
12	資源の概念（資源の定義、その他）
13	福祉政策と社会問題1（貧困、失業、要援護〈児童、老齡、障害、母子・寡婦など〉、偏見と差別）
14	福祉政策と社会問題2（社会的排除、ヴァルネラビリティ、リスク、その他）
15	福祉政策の現代的課題

【履修上の注意事項】

授業前にテキストを読み、キーワードについて調べてくること。
授業後に復習しておくこと。

【評価方法】

定期試験60%、レポート20%、発表20%で評価する。

【テキスト】

社会福祉士養成講座編集委員会編『現代社会と福祉』第4版（中央法規、2015年）。

【参考文献】

厚生労働省編『（平成26年版）厚生労働白書』（ぎょうせい、2014年）。
内閣府編『（平成26年版）障害者白書』（日経印刷、2014年）。『社会福祉六法』（最新版）。